

## 部活動の活性化 ～高校総体丹有大会 壮行会～

4月28日（水）6校時、春の高校総体丹有地区大会に出場する運動部選手の壮行会を実施しました。氷上西高校から、卓球部（5月3日、4日篠山市）、テニス部（4月30日三田市）、ライフル射撃部（5月6日明石市）が出場します。

学校長の話に続き、各部の部長が全校生に向けて総体に向けた決意を述べました。

（壮行会 学校長の話から抜粋）

選手みんなには、ぜひ日頃の練習の成果を発揮して、氷上西高校の代表としてがんばってきてほしいと思います。全校生で、応援しましょう。

部活動の良いところは、日頃の練習や試合、発表会をとおしていろいろな経験ができることです。試合に勝ってうれしかったり、負けて悔しかったり、練習が楽しかったり、苦しかったり。そういった経験から多くの事を学びます。経験をとおして人は成長します。

部活動をとおして、高校時代にしかできない経験をたくさんしてほしいと思います。

部活動の活性化は、氷上西高校の課題です。小規模校のためたくさんの部はありませんが、何か打ち込めるものを見つけて、いろいろな事にチャレンジしてほしいと思います。

今年度、新たに2つの同好会をスタートさせました。「フットサル同好会」と「吹奏楽同好会」です。昨年度からフットサル同好会はグラウンドで練習したり、青垣中学校のサッカー部と合同練習を行ったりしています。吹奏楽同好会は、昨年ゆめタウンのクリスマスコンサートや本校の卒業生を送る会で演奏しました。その実績を認めて本年度に同好会にしました。

今年度は、バスケットボールとダンスをやりたいという生徒が練習を始めています。ぜひ活動を継続させることで、同好会、部へと発展させてほしいと思います。

高校生は、放課後に1時間ぐらいは何かスポーツとか文化活動など、自分の好きなことに熱中して汗を流す、そんな時間と場所と仲間を学校の中に持つことで「楽しい学校生活」を送ってほしいと思います。

しかし、「楽しい」と「楽」は、同じ字を書くけど中身は全然違います。

ほんとうに楽しいことをしようと思えば、楽をしたらダメです。また、楽なことだけをしていても、決して楽しくはなりません。

**「楽」な学校生活ではなく、「楽しい」学校生活を送ってほしいと思います。**

（校長 高橋信之）

